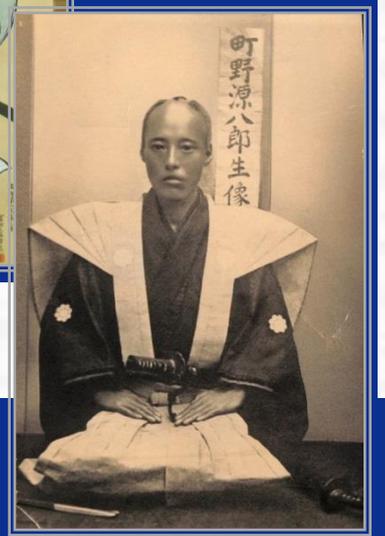
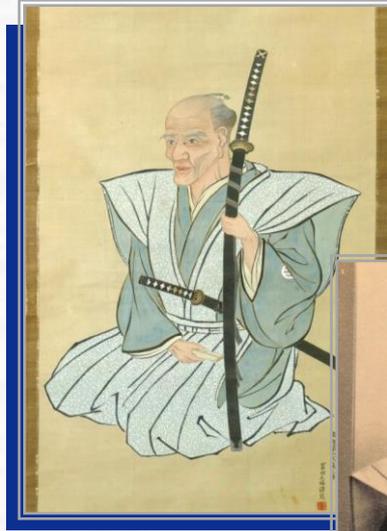




『浅野氏広島城
入城400年』

MARKING 400 YEARS SINCE
LORD ASANO ENTERED HIROSHIMA CASTLE



広島県立文書館収蔵文書展

古文書にみる

広島藩士の肖像



展示開催期間

平成31年3月29日(金) ▶▶▶ 6月8日(土)

※土曜の午後、日曜、祝日は休館。入場無料。

展示関連講演会

平成31年6月1日(土) 10:00 ~ 12:00

※事前予約が必要です。詳細は裏面をご確認ください。

広島県立文書館展示室

広島市中区千田町3丁目7-47 広島県情報プラザ2F

古文書にみる広島藩士の肖像

元和 5 年(1619)に福島正則が改易となり、同年 8 月 8 日、浅野長晟が和歌山から 5 万石加増されて広島へ入り、浅野家を藩主とする広島藩(42 万 6563 石余)が成立しました。平成 31 年(2019)はそれから 400 年に当たります。広島県立文書館では、これを記念して、当館が収蔵する広島藩士に関する古文書を展示します。

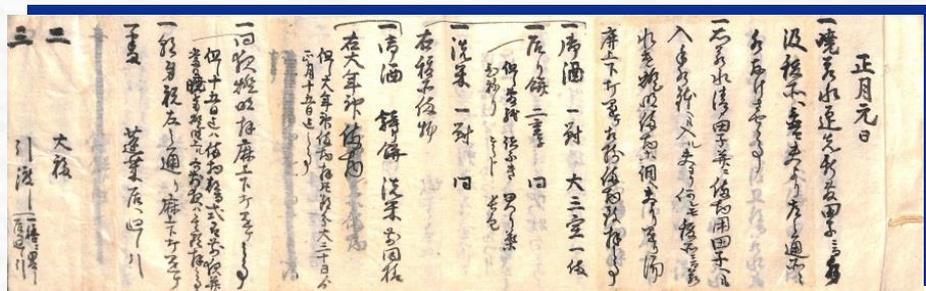
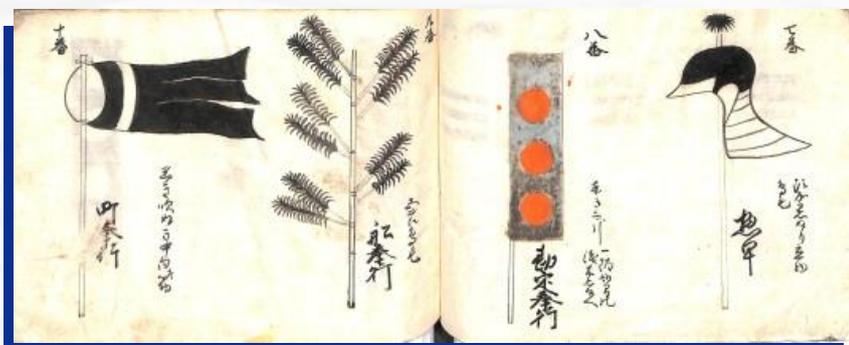
江戸時代を通じて、約 4 千人前後いた広島藩士は、江戸詰めをの者を除いて広島城下に集住し、それぞれの身分や職分によってさまざまな仕事に携わっていました。しかし、広島藩から広島県へ引き継がれた藩政文書が、明治 9 年(1876)に当時の広島県庁舎が全焼したため、ほとんど残されていません。また、原爆によって、その他の貴重な歴史資料や文化財も灰燼に帰したため、広島藩士に関して研究を進めるためには、戦前に刊行された図書類や、広島藩士の家に伝わった文書に頼らざるを得ないのが実情です。

本展では、当館へ寄贈・寄託された広島藩士の文書を通じて、藩士の仕事を紹介するとともに、藩士が大切にしようとしたもの、武士の価値観や武士の生活の様相などを紹介します。

旗印 川上家文書(199807-26) ▶▶▶

戦陣において、武士は自分の所在を明らかにするため、馬側や本陣で長柄の先に印をつけた(指物)。このうち旗の形をしたものが旗印で、そうでないものが馬印である。

広島藩では、非常時に備え、平時においても役職ごとに旗印や馬印を定めていた。



年中行事帖 町野家文書(201617-46) ◀◀◀

正月元日から大晦日まで、諸節句や節分、月見など特定の日に開催される広島藩士町野家の年中行事と、その日の料理献立などをまとめた一冊。

正月元日に当主は若水を汲み、祓所と大歳神へ供え物、蓬菜・大福・雑煮・吸物・三宝・屠蘇酒で身祝いした後、膳を食し、登城した。家来も雑煮を食した。訪れる万歳には玄米 5 合を遣わす。家内でも年始礼があり、盃が交わされた。当主は正月三日が日は麻の上下を着した。

文書館講演会 「古文書にみる広島藩士の肖像(仮題)」

開催日時:平成 31 年 6 月 1 日(土)10:00~12:00

講師:西村 晃(広島県立文書館総括研究員)

開催場所:広島県情報プラザ第 1 研修室(2 階)

申込方法:県立文書館 HP の専用申込みフォームまたは電話・はがき・FAX・Eメール等で、

5 月 25 日(土)までにお申込みください。

講演会終了後に、希望者には展示説明会・書庫見学を行います。

※お申込み多数の場合、期日を待たずに受付終了させていただく場合がございます。

広島県立文書館

開館時間 9:00~17:00(土曜日は 12:00 まで) ※日曜日・祝日・休日は休館

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47 / TEL 082-245-8444

E-mail monjokan@pref.hiroshima.lg.jp / URL <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/monjokan/>

